

## 知的障がい教育における社会科を指導する時のポイント

# 「社会の見方・考え方」とは？

特別支援学校学習指導要領解説知的障害者教科等編(上)(高等部)の社会科において、下記のように示しています。

「社会的な見方・考え方」は、中学部社会科、高等部社会科において、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする際の「視点や方法(考え方)」であると考えられる。

視点や方法って何？

**小学校等の学習指導要領解説社会編には、さらに詳しく書いている！！**



「社会的な見方・考え方」は、小学校社会科、中学校社会科において、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想したりする際の「視点や方法(考え方)」であると考えられる。

そして、「社会的な見方・考え方」を働かせるとは、そうした「視点や方法(考え方)」を用いて課題を追究したり解決したりする学び方を表すとともに、これを用いることにより児童生徒の「社会的な見方・考え方」が鍛えられていくことを併せて表現している。



まず、押さえる必要があるのは、「視点や方法」であることが分かります。小学校などでは、さらに、詳しく例を交えながら書いています。簡単にまとめてみます。

### 視点

位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目

#### どのように広がっているか

分布、地域、範囲（位置や空間的な広がり）等

#### なぜ始まったのか

#### どのように変わってきたのか

起源、変化、継承（時期や時間の経過）等

#### どのようなつながりがあるか、

#### なぜこの協力が必要か等

工夫、関わり、協力（事象や人々の相互関係）等

問う視点が大切

これらから、問う視点に応じて、子供たちが、調べ、その様子や現状などを捉えている姿

## 方法

社会的事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること

どのような違いや共通点があるか等

比較・分類したり総合したりする

どのような役割を果たしているか等

地域の人々や国民の生活と関連付けたりする

## 方法

これらから、考えたり選択・判断したりしている姿

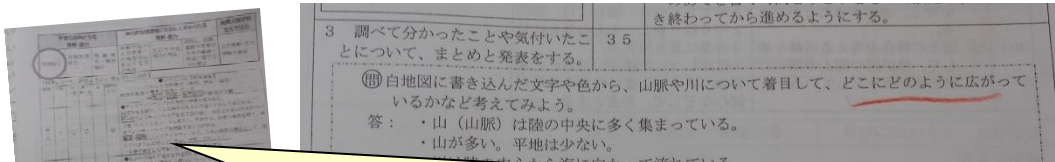


ポイントは、自分の授業で、どのように「視点」「方法」を押さえているのか、それに対しての「問い」はどうだったのか。そこを“単元案”で見える化すれば、「社会的な見方・考え方」を働かせた授業となり、目標となる資質・能力を育成がさらに充実してきますよ。

## 本校の実践例！！



高等部社会科2段階「国土の地形の特色」における学習の様子です。こちらは、樋口裕香教諭の研究授業として行われ、**視点**を意識し、**どのように広がっているか**という問いを中心に授業を進めることで、子供たちがその様子を捉え、議論しながら、思考力・判断力・表現力を深め、主体的に取り組む態度を育んだ1時間となりました。



単元案にて、単元構想の時に、どのように「視点」「方法」で考える場面を設定していくのか、本時は、どちらの枠組みで迫り、発問をどのようにするのか、事前に構想することで、子供たちが「見方・考え方」を働かせて、社会科の授業に浸って深めていく発言がたくさん見られました。

山脈が県と県の境目になっている！？



山脈がピラミッドのように日本の真ん中に広がっている！



あ！？奥羽山脈が、東北地方の真ん中にはしている。

これまでの地形や都道府県の基礎基本の暗記型の授業から、

得た知識を活用して、思考していく力を高めていく授業へ！！